

## 2. 【駐輪環境】 基盤整備の考え方

- 本市では、現行計画において区内の駐輪場の収容台数目標 9,000 台を設定し、市営駐輪場の運営、鉄道事業者と連携した無料駐輪場の整備等を進め、必要な収容台数の確保を目指しています。
- 一方で、公共交通と連携した駐輪場が求められているなど、新たな方針の検討が必要です。

### 【現行計画】での駐輪対策

#### ① 自転車駐輪場整備の考え方（現行計画）

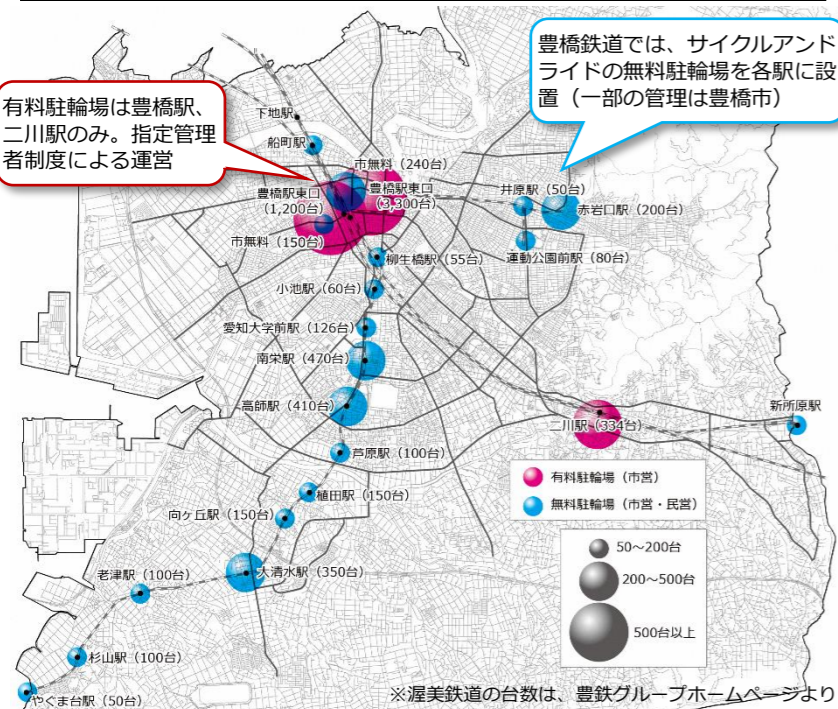
- 本市では「通勤」「通学」「買物」の場面にあわせて、鉄道駅での駐輪場整備、買物先での駐輪場確保を推進。

【通勤】 交通結節点における駐輪場の整備（通勤者向け）

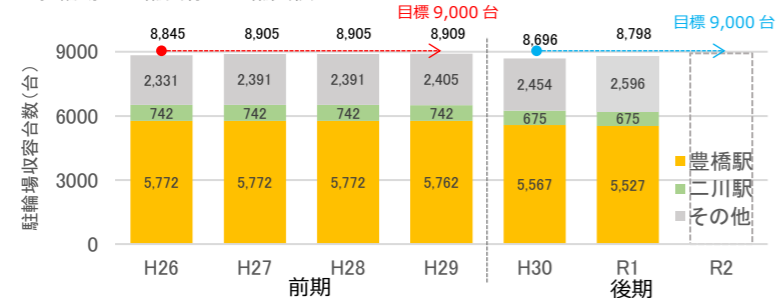
【通学】 交通結節点における駐輪場の整備（通学者向け）

【買物】 まちなかにおける駐輪環境の向上

#### ② 鉄道駅、電停での整備実績（有料／無料、駐輪場収容台数の別）



#### ■ 駐輪場の整備目標と整備実績



#### ③ 放置自転車対策の推進

- 豊橋駅、二川駅に放置規制区域を指定し、放置自転車の即時撤去を含めた対策を展開し、現行計画策定時（H25）の台数から3割程度に大幅に減少しました。（ときわ通など一部地区を除く）

### 【次期計画】での駐輪環境の方針（案）

#### サイクルアンドライド駐輪

#### 【公共交通との連携】

- 公共交通と連携させるため、交通結節点などの駐輪機能の強化を検討

- 赤岩口電停、南栄駅、大清水駅、二川駅、和田辻東バス停では既に交通事業者と連携した事業を実施  
→ 自転車が近距離の交通手段として、駅やバス停などへのアクセス交通となるよう駐輪機能を強化  
公共交通沿線の公共施設等の駐輪場の活用を検討

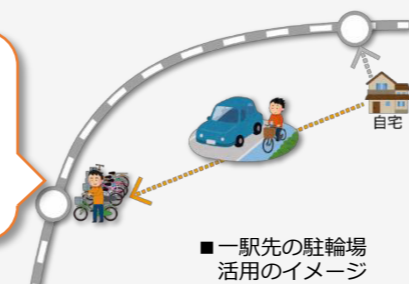
- 宅地開発など新たな駐輪需要に対応した駐輪場の拡充などを検討

- 豊橋ミラまちなど鉄道沿線では宅地や商業地など開発が進行  
→ 新たな需要に対して、既存の駐輪場が不足することが懸念されるため、駐輪場の拡充など対応

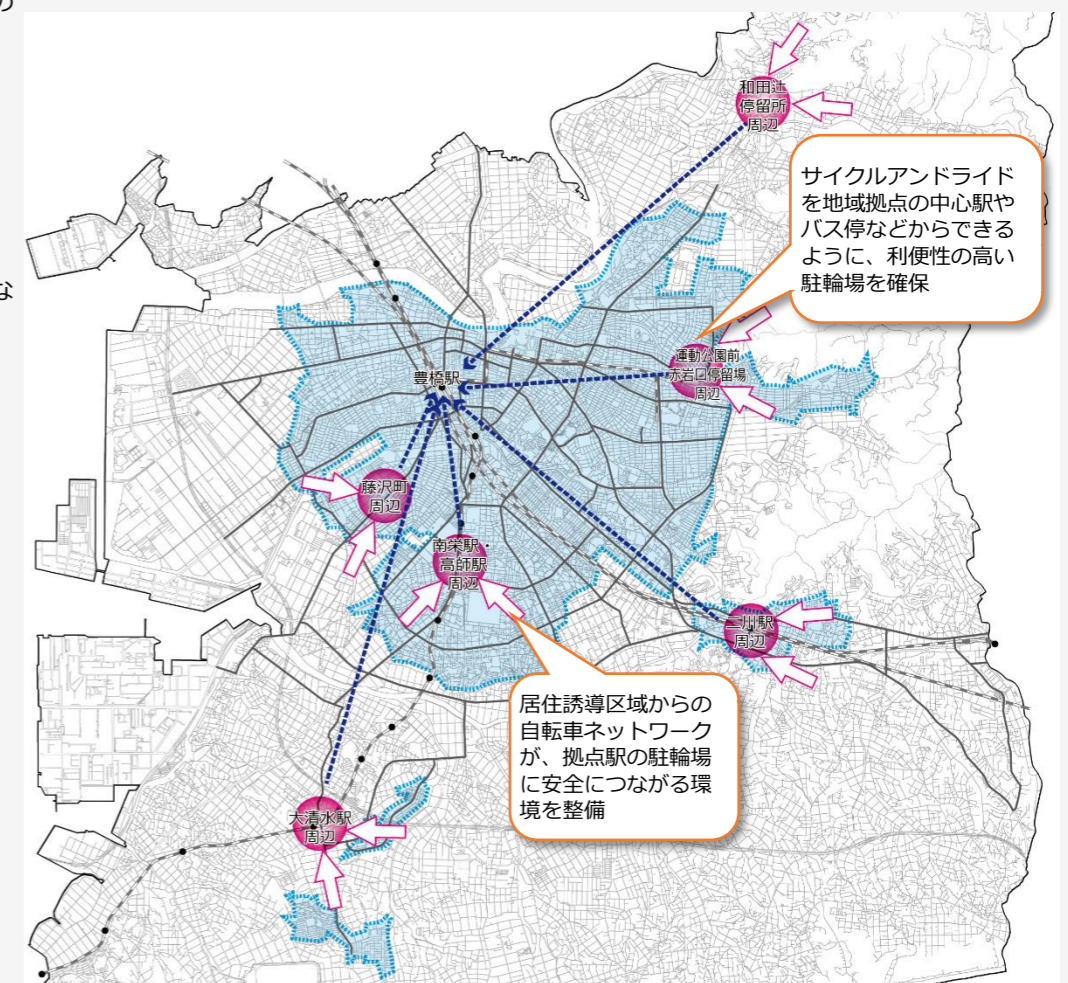
- サイクリストや観光客など向けの付帯的機能を検討

- 豊橋駅周辺で輸送するサイクリストに向けて、自転車組立スペースを設置  
→ 他の場所でもサイクリストや観光客などに向けて、自転車組立スペース設置などを検討

駐輪場が足りない最寄り駅にこだわらず、余裕のある一駅先の駐輪場を利用するなど、自転車利用の選択肢の幅を広げる取り組みも検討



■ 一駅先の駐輪場活用のイメージ



#### まちなか駐輪

#### 【まちなかにおける駐輪環境の向上】

- 限られた都市空間の有効利用

- 子育て世帯や高齢者など地下駐輪場へアクセス困難  
→ 民間施設の空地や公共空間を活用した小規模駐輪場の分散配置

- 商店街・発展会などの団体と連携

- まちなかへの来街や居住を促進し、回遊性を高めるストリートデザイン事業を実施  
→ ストリートデザイン事業で生み出される利活用空間への店舗前駐輪

- 駐輪施設整備等の誘導

- 多くの駐輪需要は施設にて発生  
→ 再開発事業などにおける駐輪施設整備の要件化

#### 【他都市事例】八王子駅商店街



#### 八王子市サインラックによる駐輪対策事例

※営業時間に応じて、商店街が店舗先に駐輪ラックを設置する運用